

① 役場組織の中で、各部署において吉田町政が誇れるものは何かについて

平成30年に入り穏やかな出発と思いきや、寒波の襲来で交通マヒが発生している。心配である。また、各地方で、県知事選挙や市長選挙が行われ、それぞれの地方の判断が出ている。結果として、安定を望んでいることと思われる。

さて、吉田町政においては、2期目の後半が問われている。

仮定の話だが、国の考え方や方針が変わり、町内をいくつかの地区に分割し、行政体が複数設置され、それぞれで行政執行となった場合、今の執行部組織の継続のままではよいのかとなってくる。

スーパーや百貨店などの商業界においては、常に目線をお客様側に向けている。行政体においては、行政側からの目線で運営しているのが現状である。

そこで、以下町長が誇れる政策について質問する。

- (1) 複数の行政体となったとき、各部署で誇れる政策は何か。
- (2) それぞれの接遇や人事管理においては、どのように考えるか。
- (3) 住民に協力をお願いしている資源化物拠点収集は誇れる事業として今後も継続していくのか。
- (4) ごみ出しの高齢者支援事業制度があるが、利用者が増大する可能性がある。その対策や周知はどうか。
- (5) 中村長崎県知事は「健康長寿日本一」を公約としている。本町においても「健康長寿」宣言を検討しているが、状況はどうか。

常に言っている「120歳まで健康」という言葉は文言として記入される予定なのか。

健康宣言について取り組んでいる例として、群馬県草津町では、ユニークな健康診断「にっこり検診」、埼玉県鳩山町では「健康長寿のまち」を宣言している。また、神奈川県大和市では「認知症1万人時代に備えるまち」宣言を行っている。

② 全国5大新聞を含めた新聞による情報収集の活用、利用について

新聞は住民の有力な情報源であり、有効に利用、活用されていると思うので以下質問する。

- (1) 図書館には地方紙・5大紙を含めたものが揃っているが、当日以外は事務所管理となっている。住民としては気軽に1カ月位は、読み直してみたいと思うものである。ロビーで気軽に読めるように出来ないか。
- (2) 役場内ロビーには5大紙が全部揃っていないが、町民のためにも必要と思うが、どうか。
- (3) 平戸市の市長は、ある新聞社の記事の取り上げが公平ではないとして、某新聞の購読を止めたと新聞記事に出ていたが、新聞報道の表現について、どのように思われますか。

以上質問します。